

保護者向けワークショップ

CARE プログラム

こどもと大人の「きずな」を深める心理教育プログラム



子どもと仲良くしたいのに、子どもが言うことを聞いてくれない、子どもがグズグズ言う、落ち着きがなくて・・・、ついイライラして、叱ってばかりになってしまう・・・、と、悩んでいませんか

そんなとき、CARE（ケア）プログラムが役に立つかもしれません。CARE（ケア）は子どもとの関係づくりに必要なことを学び、子どもとの絆を強めるプログラムです。

子どもにとって「遊び」はとても重要です。遊びの体験のなかで自分、他者、世界について様々なことを学びます。CARE（ケア）では、子どもの遊びの場面を基本に、子どもとの関係づくりに必要なスキルを習得します。そして、子どもの肯定的な行動を促し、子どもが大人に従う機会を増やすための基本的なスキルを学びます。

子どもとの衝突を最小限にし、関係をより良くするために、CARE（ケア）と一緒に学んでみませんか？

※CARE（ケア）とは、米国オハイオ州シンシナティ子ども病院で開発された、子どもと関わる 大人のための心理教育的介入プログラムです。子どもとの間に温かな関係を築き、関係をよりよくする際に大切なことを体験的に学んでいきます。

日時/ テーマ 第一回目：7月7日（日）午後1時半～3時半

「子どもとの絆を強めるコミュニケーション・スキルを学ぶ」

「子どもの不適切な行動に対処するスキルを学ぶ」

第二回目：7月21日（日）午後1時半～3時半

「振り返り」と「よい指示の出し方について学ぶ」

講師 西順子（女性ライフサイクル研究所/臨床心理士）

神田有里子（神戸女学院大学非常勤講師/臨床心理士）

対象 DV被害を経験したシングルマザーの方で、

2歳～小学校6年生までの子どもをもつ方 定員 8名

--保育 あり 参加費 500円

会場 新長田勤労市民センター会議室3

（JR新長田駅前 東急プラザ内 3階）



申込方法：TE1 & FAX 078-734-1308

メールアドレス womens-net-kobe@nifty.com

主催 認定法人女性と子ども支援センターウィメンズネットこうべ

この事業はひょうごコミュニティ財団の助成を受けて実施します